



## 私のすすめるこの1冊

深沢 太香子 (家政科 准教授)

### 『はだかの起原』

島泰三 著

本棚に納められた沢山の本の中から、たまたま手にしたことがきっかけで、素晴らしい一冊の本に出会うという経験が、皆さんにもあると思います。今日は、日高利隆先生の著書を求めに書店の生物学コーナーを訪れた際に、偶然見つけた、大変興味深い一冊をご紹介します。

その本というのは、「はだかの起原 不適者は生きのびる」で、著者は、島泰三先生というアイアイ研究の第一人者です。アイアイといえば、南の島マダガスカルに生息する猿で、童謡にもなっていますから、実物を見た事がなくても、名前を聞いただけで親しみを感じる動物ですね。

島先生は、アイアイ以外の霊長類に関しても、精力的にフィールドワークも行っておられます。もちろんサルも研究対象で、あるとき、台風直撃という状況下でサルの行動を調査することになりました。猛烈な暴風雨の中で、観察者である島先生一行はずぶ濡れとなり、身体は濡れた衣服によって冷やされて、体力の限界にまで達する一歩手前という状態でした。一方、サル達は暴風雨の影響を全く受けず普段どおりで、むしろ、子サル達は風で揺れる枝を使って楽しそうに遊んでいたそうです。同じ状況下であるにもかかわらず、ヒトとサルにおけるこの対比的な反応に、島先生は驚愕されるとともに、この違いは毛皮の有無によってもたらされていることに気付かれました。(これは、毛皮が温かいという事だけでなく、水に濡れないためです。そんな毛皮の凄さについては、私の担当科目「衣生活概論」に

て解説しています。)

毎日の生活の中で、我々は、当然のように衣服を着用しています。しかし、身体を護ってくれる毛皮には、どんな衣服や雨具もとてまかないません。この素晴らしい毛皮をヒトはなぜ失ったのかという疑問は、実はまだ解明されていないのです。島先生は、この大なる疑問に対してこれまでに出版された色々な仮説、例えば、最適者生存説や狩猟仮説、海中起源仮説では、全てに矛盾点があることに切り込んで、ヒトに毛皮がないこと(裸であること)のメリットを説明できていないことを指摘しています。そして、人類に生じた裸化は、哺乳動物で0.1% - 0.01%という極めて低い確率で起こる特別な出来事が、偶然にも重複したためであると説明しています。

この偶然の生命体である裸化した人類が、体温と水分を調節するために必要としたものが衣服、家(住居)、火でした。島先生は、これら三種の神器(?)の出現した時期が分かれば、人類が便利な毛皮を失った、もしくは、失っていた時期が分かるだろうとも述べられています。(最近では、DNA解析技術を駆使して、ヒトが衣服を着用し始めた時期については推定されて、高名な学術雑誌にも掲載されるようになっていきます。)

私は、この一冊に出会って、自分の学んでいる被服・衣服が、一見無縁である人類学とも共通の「なぜ」を探求していることに、とても興奮しました。このような偶然の出会いが楽しくて、京教大図書館や街の本屋さん足運ぶのが、私の大きな楽しみになっています。

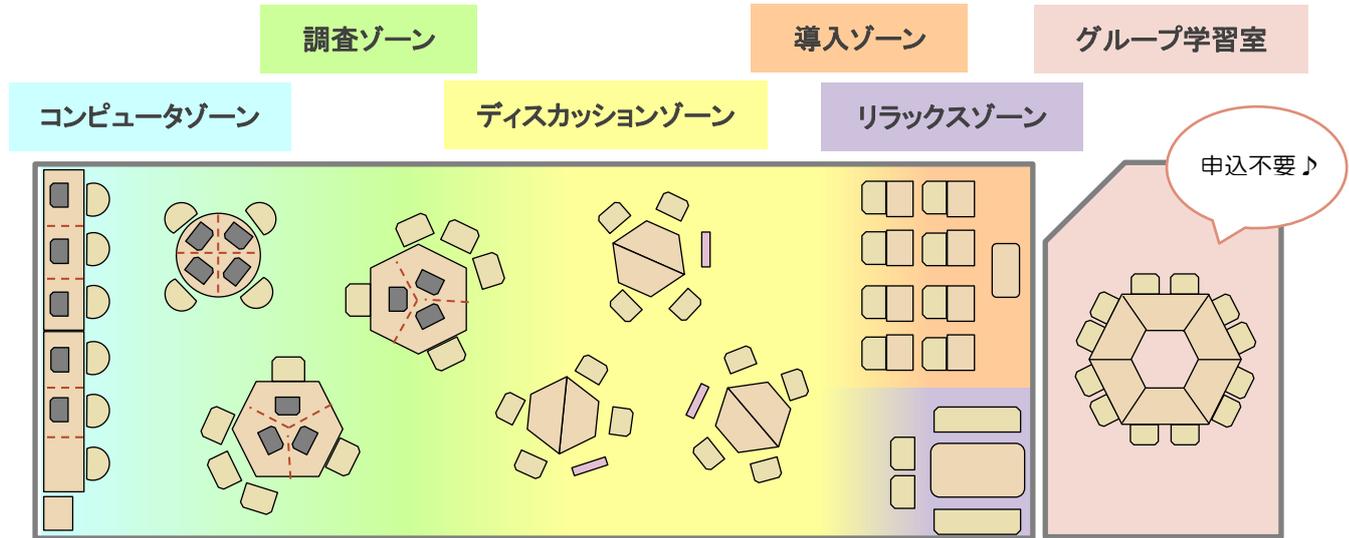
# 図書館が新しくなりました!

## ～北館2階 ラーニングcommons編～

「ラーニングcommons」とは、「学びを共有する場」のこと。グループでの学習やディスカッションを通して、自ら気づき主体的に学ぶ空間づくりを目指しています。



## 用途に合わせて選べるゾーン



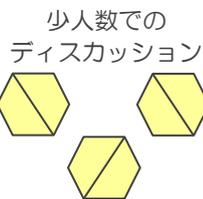
## 例えばこんな使い方

### パソコン+グループ学習!

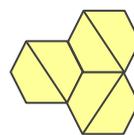


机が広いので、1台のパソコンを数人でシェアして調べものができます。

組み合わせ自由でさまざまな人数に対応できます!



全体発表・討論



リラックスしながら  
アイデアを出そう♪

思いついた事はホワイト  
ボードにもかけますよ。



電子黒板の使用、プロジェクタの  
貸出等、お気軽にお尋ねください。

## えほんのもり から

今月の読み聞かせ会は 12月9日(月) 15:00~15:20 です。

『サンタおじさんのいねむり』 ルーズ=ファチオ原作；前田三恵子文；柿本幸造絵

### ●おすすめポイント●

あたたかいタッチのイラストと、心あたたまるストーリーがクリスマスのさむい夜にぴったりです。

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

今月の絵本カードはこちら!



# 図書館からのお知らせ

## 冬季休業に伴う長期貸出について



下記のとおり長期貸出を行っていますので、どうぞご利用ください。

対象者	院生・教職員	学部生
貸出冊数	12冊	7冊
貸出期間	11月25日(月)～12月10日(火)	12月9日(月)～12月24日(火)
返却期限日	2014年1月8日(水)	

※視聴覚資料は除きます。

※長期貸出図書については、返却期限日の延長はできません。一度返却してから、翌日以降貸出の手続きをとってください。

## ラーニングコモンズに設置している IPC 端末の利用停止について



すでに情報処理センター(IPC)からも連絡のあったとおり、システム更新のため IPC 端末を利用できない期間があります。これに伴い、2014年1月6日(月)から2月末日まで、図書館のラーニングコモンズに設置している IPC 端末も利用できません。ご理解とご協力をお願いいたします。

## イベント案内



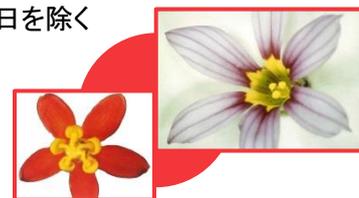
### 第2回写真展 小さな花と実

今年の5～6月に実施した、本学名誉教授である土倉亮一先生の第2回写真展を開催します。

展示期間 : 2013年12月3日(火)～12月20日(金) 9:00-17:00 ※休館日を除く

展示場所 : 附属図書館北館1階 企画展示室

入場無料です。どなたでもご覧いただけますので、ぜひお越し下さい。



### 第21回 うたとおはなしの会

赤・白・緑のクリスマスカラーが町を彩る季節となりました。12月の「うたとおはなしの会」では、木枯らしがふく寒い日でも、心がぽかぽか暖くなるような、楽しい歌やお話をたくさん用意して、皆さまのお越しをお待ちしています。10月に新設された児童書コーナーにも是非、お立ち寄り下さいませ。

開催日時 : 2013年12月14日(土) 11:00-12:00

開催場所 : 附属図書館北館2階 研修セミナー室1

対象 : 幼児(3～6歳頃)と保護者 ※0～2歳児も大歓迎!

申込方法 : 保護者氏名、子どもの名前と年齢、電話番号を、はがき・電話・FAX・E-Mail でご連絡ください。

申込先 : 電話:075-644-8176 FAX:075-644-8182 E-Mail:tosomu@kyokyo-u.ac.jp (@は半角)

※無料です。その他詳細は掲示またはホームページ等でご確認ください。

今回の執筆者 内田 利広 (教育学科 教授)

「不登校支援における登校刺激と適応最近接領域」  
 — 「初めてのおつかい」にみる心理的負荷の与え方—

内田利広

京都教育大学紀要. 2013, No. 123, pp. 75-85.

本論は、ある講演で、不登校の問題に取り組んでいる先生方に対して、何か参考になる話ができればと考えていたときに、登校刺激の問題と「初めてのおつかい」との類似性が浮かんで来て、それをまとめたものである。

登校刺激というのは、不登校の児童・生徒に、登校を促すような働きかけを行うことである。これは、言葉だけではなく、態度やプリントを渡すといった行為も含まれてくる。不登校が増え始めた初期の不登校児童・生徒への支援においては、学校に行けなくなった子どもに対し、何と少しでも学校に来させるようにすべきだと強い登校刺激を与えてきた。しかし、それではかえって子どもは学校に来るのを嫌がり、さらに学校に来にくくなるという現実があり、最近では、登校刺激は控えるべきだという考えが強くなっている。不登校の児童・生徒を強引に登校させるのではなく、まずは話を聞いて、子どもの心に寄り添うことが大切であるという姿勢である。そして、その上で、子どもが少し元気になり、対人関係がある程度取れるようになってきたら、登校への促し、つまり登校刺激を与えてもいいのではということになってくる。

そこで、登校刺激を与えるということになるが、それをどのように与え、登校への促しをしていったらいいか、これはなかなか難しい課題である。つまり、不登校から少し回復傾向にあり、登校への兆しが見えてきた段階で、誰がどのような態度で、登校の促しを与えたらよいか、多くの先生が悩むところである。筆者は、これを心理的負荷を与える状態として捉え、「初めてのおつかい」を例にして説明した。3, 4 歳の子どもが母親に頼まれて、初めて一人でおつかいに行く様子は、感動的であり、親としてはつい涙を誘われるシーンである。母親と子どもの信頼関係の中で、親はあえて危険なおつかいに行かせ、子どもはその期待に必死に応えようとして頑張る姿は、感動的である。それはまさに、不登校の子どもが何とか一人で学校に向かう姿と重なるのである。そして、それを見送り、帰りを待っている母親は、子どもが登校できるかを心配そうに見守る教員の姿とも重なるのである。本論では、そのような親や教員の登校刺激をめぐる関わり方について述べたので、ご一読いただければと思います。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 123 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/> にも公開予定です。

●京都教育大学附属図書館ホームページ <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm> QRコード→



開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2013年12月							2014年1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30	31	

12/7 推薦入試

12/21-1/5 冬季休業

1/6 授業再開

1/18-1/19 大学入試センター試験

12月7日(土)が休館に変更されています。ご注意ください。

1月17日(金)は授業休止日のため17時閉館です。

京教図書館 News No.159 (2013年12月号)

発行日:平成25年12月2日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp